

JA高岡 准組合員の情報紙

e-jan

everybody's JA newsの頭文字から名付けられました

No. 18

令和7年
7月10日発行

編集/発行「地域とともに生きる」JA高岡・(一社)高岡JA会館

〒933-8502
高岡市あわら町1番1号 TEL (0766) 26-7410

目次

- 1 2025 年は「国際協同組合年」です
- 2 田んぼの役割を学ぼう
JA高岡第61年度の収支・剰余金処分のご報告
- 3 みんなのよい食プロジェクト
准組合員セミナー「高岡の農業のこと、聞いて!食べて!学ぼう!」参加者募集
- 4 JA高岡からのお知らせ
農産物直売所のご案内



2025
国際協同組合年
協同組合はよりよい世界を築きます

IYC2025 2025年は 「国際協同組合年」です

国連は2023年11月3日の国連総会で、
25年を「国際協同組合年」(IYC= International Year of Cooperatives)と
することを宣言しました。これは、12年に続き2回目です。

協力: IYC2025 全国実行委員会
(事務局: 日本協同組合連携機構)

国連の「国際年」って?

国連では、1957年から国際年を設定しています(同年は国際地球観測年)。国際年には、世界に共通する重要テーマについて、各国や世界全体が1年間を通じて呼びかけや対策を行うよう取り組んでいます。

国際協同組合同盟とは?

1895年に設立された国際的な協同組合の連合組織です。加盟組織は103カ国299団体(2024年4月現在)で、本部はブリュッセル(ベルギー)に置かれています。なお、加盟組織傘下の組合員数は世界全体で10億人を超えています。日本からは17組織が加盟しており、JAもその一つです。

なぜ国連はIYC2025を設定したの?

国連は国際協同組合同盟(ICA)と連携を図り、国際協同組合デーの開催、国連総会における協同組合振興決議、協同組合振興のための国連ガイドラインの策定など、協同組合振興に努めてきました。国連が協同組合を重視するのは、協同組合が事業や活動を通じて、女性、若者、高齢者、障害者を含むあらゆる人々の経済社会開発への参加を促し、貧困の根絶、雇用の創出、社会とのつながりの強化に貢献し、持続可能な開発などに貢献できる企業・社会的実体だ、と評価しているからです。

国連はIYC2025を通じて、次の取り組みを講じるよう、各国政府や関係機関に要請しています。

- ① 持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた協同組合の実践、社会や経済の発展への協同組合の貢献に対する認知を高める。
- ② 協同組合の発展を支援し、協同組合を振興する。

SDGsと協同組合

協同組合は、誰かに助けてもらうことで解決を図るのではなく、一人一人の主体的な参加を基礎に、生産や暮らしなどさまざまな面で協同し合うことにより、解決の道を切り開いていくという団体です。自ら事業を利用したり、活動に参加したいと考える人は誰でも加入できるオープンな組織であり、協同組合が大切にしている平等、公正、連帯という考え方はSDGsの理念と合致します。

**協同の輪を広げて、
日本を変えていきましょう!**
JAグループは、協同組合として地域で助け合いの輪を広げ、持続可能な開発目標の実現に貢献しています!

第1次産業生産者の協同組合として

地域の組合員のニーズに対応し、経営・技術指導、低コスト資材の供給、共同販売、事業資金や生活資金の貸し付けなどにより、組合員の農業経営と生活を守ることを通じ、消費者への安全で新鮮な農産物の生産・販売と、農地保全を通じて美しい国土の保全に寄与しています。

万が一を助け合う共済事業

共済とは、組合員の誰かが困ったときに、他の組合員全体で助ける仕組みです。私たちの生活を脅かすさまざまな危険(災害・交通事故など)に対し、組合員同士で助け合う相互扶助を具現化した保障事業です。

医療・福祉、厚生事業

地域に密着した医療・福祉サービスの提供を通じ、安心して暮らし続けられる地域づくりに取り組んでいます。

協同組織金融機関として

協同組織金融機関とは、出資者でもある組合員が預貯金し合い、集まったお金を必要ときに適切な審査の下で組合員に融資する協同組織の金融機関です。地域に根差して、農業経営の安定や改善、暮らしの向上などさまざまな問題解決・価値創造を手伝い、地域経済の発展に貢献します。



お米を作るだけじゃない！

●監修：林 隆典
●イラスト：小林 裕美子

田んぼの役割を学ぼう

田んぼは稲を育てるだけではなく、人や環境、さまざまな生き物に対しても役立っています。どのような働きをしているのか学んでみましょう。

田んぼにはどんな役割があるの？

稲を育てる

田んぼの役割はいろいろあります。一番大切なのはお米を収穫するために稲を育てることです。農作物は同じ場所で同じ作物を繰り返し栽培すると、生育が悪くなったり枯れたりする連作障害が起こりやすくなりますが、田んぼではそれがありません。米は安定的に食べることができる優秀な農作物なのです。

周囲の気温を調節する

田んぼは気温を調節してくれる機能もあります。夏に地面に水をまくと、水が蒸発するときにひんやり涼しくなりますね。水をためた田んぼも周囲を冷やしてくれるのです。アスファルトやコンクリートで地面が覆われた都会から田園地帯に來ると違いを体感できます。

洪水などの水を緩和

台風や大雨などで川の氾濫が起こっても、河川と民家の間にある田んぼが遊水池となり、水害の広がりを抑制してくれます。川の氾濫により土地が肥沃（ひよく）となるため、太古より川の近くには人々は住み、農業が営まれてきました。

地下水源を守る

田んぼは地下水源を守るのにも役立っています。山や田んぼからゆっくりと浸透した地下水を蓄えているのです。

生態系を守る

田んぼには多様な水生生物が共生しています。特にカエルは水田の稲作サイクルに合わせて成長します。また周辺は、ヨモギやカキドオシ、ノビルなどの山野草が生え、イナゴやドジョウなどがいて、われわれの食べ物になってくれます。

田んぼに流れ込んだ水は日光で温まり、プランクトンを育み、ヤゴや水生昆虫、小魚の餌になります。田んぼで育ったユスリカやトンボを小鳥が食べ、カエルはヘビに、小鳥やヘビはタカやフクロウに捕食されます。このように田んぼから命が繋がっているのです。

植物の呼吸には人を癒やす効果があります。最近になり、田んぼの稲や周辺の草花の朝露にはマイナスイオンによるリラックス効果もあるともいわれています。

稲作と文化

稲わらは納豆や草鞋（靴）、正月飾りなどに使われていました。稲のこうじは酒やみそを造るのに使われ発酵文化を支えてくれています。稲作は日本の文化風習に多岐にわたって影響を与えているのです。

水を循環させる田んぼ

海上で雲ができる

- ①雲が山にぶつかり雨が降る
- ②雨水が森に蓄えられ、泉が湧く
- ③川となって流れる
- ④水を田んぼに引く
- ⑤ゆっくりと浸透した地下水も蓄えられていく
- ⑥ため池に蓄えた水が田んぼに使われる場合も
- ⑦田んぼから水路へ流す水を頼りに、魚が産卵にやってくることも
- ⑧田んぼから出た水が川へ流れる
- ⑨水が海へと注がれる



JA高岡 第61年度の収支・剰余金処分のご報告

(令和6年3月1日から令和7年2月28日まで)

1. 損益計算書

(単位：百万円)

部 門 区 分	金 額
事業総利益	1 2,084
事業管理費	2 △ 1,935
事業利益	3=1+2 148
事業外損益	4 101
経常利益	5=3+4 250
特別収支	6 △ 12
税引前当期利益	7=5+6 237
法人税、住民税及び事業税	8 △ 62
法人税等調整額	9 △ 2
当期剰余金	10=7+8+9 173
当期首繰越剰余金	11 149
当期末処分剰余金	12=10+11 322

(注) 百万円未満の端数を切り捨てて表示したので、差引・合計が一致しない箇所がございます。

2. 剰余金処分

(単位：円)

項 目	内 訳	合 計
1. 当期末処分剰余金		322,237,021
2. 剰余金処分額		93,920,541
(1) 利益準備金	40,000,000	
(2) 出資配当金	26,986,119	
(3) 事業分量配当金(右記★参照)	26,934,422	
3. 次期繰越剰余金(1-2)		228,316,480

- ① 出資配当は年1.0%の割合です。ただし、年度内の新規加入については日割計算です。
- ② 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善の事業の費用に充てるための繰越額が含まれています。

★事業分量配当金とは？

組合員の皆さまのJA事業の利用によって生み出された剰余金を、皆さまの利用分量に応じ、皆さまに還元(配当)する制度です。

- (1) 定期貯金平均残高に対し 0.005%
- (2) 長期共済新契約(保障) 1万円に対し 0.5円
- (3) 購買品供給高(肥料・農業)に対し 2.5%(消費税抜き)
- (4) 当年産米売渡数量 1俵(60kg)に対し 30円(消費税抜き)
- (5) 当年産販売品受入高(米以外) 1千円に対し 5円(消費税抜き)

わたしのよい食は、みんなのよい食に、つながっている。

みんなのよい食 プロジェクト



笑顔ちゃん
みんなのよい食プロジェクト

わたしと
家族に
「よい食」

朝からしっかり食べて
一日を元気にスタート

よく噛んで食べて
体や脳の動きを活発に

栄養バランスを考えて
毎日健康な食生活を

楽しく手づくりで
食材への愛も深まる

「旬」のものを食べると
美味しくて栄養たっぷり

料理を工夫して
食材をムダなく使う

農業と
地域に
「よい食」

ファーマーズマーケット
を利用して地産地消

国産の農畜産物を食べて
日本の農業を応援

農業体験などに参加して
農業の大切さを学ぶ

農業まつりなどに参加して
地域の食や文化を学ぶ

持続可能な
社会・環境に
「よい食」

食料自給率アップ
に貢献

海外からの輸送による
CO2排出を削減

食品ロスを削減

地域の活性化を実現

農業・農村の持つ
多面的機能を守る

飢餓ゼロの世界に
向けて貢献

さあ今日から、わたしのよい食、はじめよう！

自分と家族のために。農業と地域のために。
わたしたち一人ひとりにできる
「よい食」があります。
それは、持続可能な社会や環境に
とっての「よい食」にも
なります。
あなたも「よい食」
してみませんか？



バケツ稲 づくり



JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、次代を担う子どもたちを対象に、バケツで稲を育てるという一連の作業を通して、米や稲作文化だけではなく、広く農業全般についての学習機会をつくり、農業の持つ多面的機能への理解を深めてもらい、ごはんを中心とした日本型食生活や国産農畜産物への関心を高めるきっかけとして「バケツ稲」づくりに取り組んでいます。



准組合員セミナー

高岡の農業のこと、

聞いて！ 食べて！ 学ぼう！

参加者募集！



准組合員のみなさまを対象にJA高岡や高岡の農業を学ぶセミナーを開催します。ご応募お待ちしております。
*この情報誌は准組合員の方へお送りしております。

■日時 令和7年10月18日(土)
10:00～11:30

■場所 高岡JA会館 [高岡市あわら町1-1]

■内容 ・生産者のお話と、学校給食で人気のある献立を再現した食事のご提供（お話をされた生産者が育てた野菜をつかって）
・JAについての学習、JA高岡の紹介ほか

■募集 JA高岡准組合員とご家族 20名

■参加費 無料

■申込 右記に必要事項を記入され、お近くの支店・地区センターへお持ちください。

■締切 令和7年8月12日(火)

■その他

- ・准組合員ご本人とあわせて、同居のご家族も3名まで申し込みできます。ご家族のみの申し込みは、できません。
- ・申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。（申込書ごとの抽選）
- ・ご応募いただいた方全員に、8月末までに抽選結果をお知らせいたします。あわせて当選された方には詳細をお知らせします。
- ・当日の様子を撮影した写真はJA高岡広報誌ならびにホームページ等に掲載させていただきますのでご了承ください。
- ・ご記入いただいた個人情報はセミナー以外に使用することはありません。

准組合員セミナーのお問い合わせは 組織広報課まで ☎ 26-7410

JA高岡准組合員セミナー

「高岡の農業のこと、聞いて！ 食べて！ 学ぼう！」
参加申込書

申込日： 月 日

ふりがな	年齢
申込者氏名 (准組合員名)	歳
住所	
電話番号	
ご家族氏名1	歳
ご家族氏名2	歳
ご家族氏名3	歳

受付店舗使用欄

受付日：

受付店舗名：

9期連続受賞!!

JAのこども共済
「学資応援賞」

ママリロコミ大賞

2025 学資保障部門
受賞

お子さま・お孫さまの将来のために

教育資金の備えと万一の保障 /

JAのこども共済

おかげさまで契約実績 約164万件*

*2025年1月末現在保有契約実績(こども共済全タイプ合計)

JA共済

Web限定
先着75,000名様

JA共済オリジナル アンパンマン マルチポーチプレゼント!!

応募期間 2025年4月1日(火)～2026年3月27日(金)
*抽選に当たりますので、必ず応募ください。

応募資格 キャンペーン期間中に「JAのはじめて共済」サイトからこども共済の資料をご請求いただいた方

資料請求はこちらから

または、JAのこども共済 で検索!

*賞品はご請求いただいた資料に同封して発送させていただきます。*賞品の仕様・デザインが変更となる場合があります。*当キャンペーンの賞品は、1家庭につき1点とさせていただきます。*賞品は抽選により選ばれる場合がございます。*賞品受取の権利を他人に譲渡したり、金品に交換したりすることはできません。*抽選結果はご利用者さまのご住所となります。*当キャンペーンは予告なくサービスを中止・終了する場合がございます。*ご登録いただいた個人情報は、JAおよびJA共済の事業ならびに各種サービスのご提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。*当キャンペーンやご加入に関するご不明点がございましたら、お近くのJAへお問い合わせください。



JA高岡

団体信用生命共済付

マイカーローン

変動金利型

年1.85%

(保証料込)

※店頭標準金利 年2.85%(令和7年6月2日現在)

■保証
・富山県農業信用基金協会の保証をご利用いただけます
・保証料は金利に含まれます

■団体信用生命共済
お客様が万一(死亡または後遺障害)のとき、債務残高相当額が共済金として全国共済農業協同組合連合会よりJAに支払われ、ローンが全額返済となるものです。住宅ローンに付保されることが一般的ですが、JA高岡ではマイカーローンにも標準付帯となります。

■金利軽減項目

・給与振込または年金振込(公的年金に限る)をご指定の方	年1.00%
・当JA正組合員(同居のご家族を含む)の方	年0.50%
・JAカードをお持ちの方	年0.50%
・当JAにて住宅ローンをご利用の方	年0.50%



お取引に応じ、店頭標準金利より最大1.00%の金利を軽減します

スマホ&パソコンでもお申し込み可能!

※商品内容について詳しくはお近くのJA窓口までお問い合わせください。
※当JA店舗に説明書をご用意しています。
※審査の結果、ローン利用のご希望にそえない場合もございますのでご了承ください。

2025年

8月・9月は

対象のJA直売所でJAカードをご利用いただくと

10%割引!

※JA高岡の対象直売所はあぐりっち佐野店です

〈対象期間〉
2025年8月1日(金)～9月30日(火)

※一部対象外の店舗・商品・サービスがございます。

まだJAカードをお持ちでない方は今すぐご入会!

JAバンク口座をお持ちの方は

WEBから



<https://www.jacard.cr.mufg.jp/ad/tslt/>

JAバンク口座をお持ちでない方は

アプリから



<https://www.jabank.jp/ja/appplus/>

お近くのJA店舗で直接お申し込みいただけます。

店舗で



※アプリでのお申し込みは一部お取扱いをしていないJAがございます。※JAカードのご入会には別途審査がございます。

JA直売所(JAカード5%割引実施店舗)でJAカードをご利用いただくと、通常5%割引が、対象期間中はご請求時に**10%割引**となります。

お問い合わせはお近くの窓口まで



JA高岡の農産物直売所

地元の農家のみなさんが丹精込めてつくった農産物が並びます

あぐりっち佐野店

住所: 高岡市佐野1416-1

電話番号: 0766-22-0230

営業時間: 8:30～16:00

定休日: 年中無休(年末年始除く)



あぐりっち戸出店

住所: 高岡市戸出吉住663

電話番号: 0766-63-0107

営業時間: 8:30～15:00

定休日: 年中無休(年末年始除く)



あぐりっち矢野店

住所: 高岡市伏木矢野4-26

電話番号: 0766-44-6504

営業時間: 9:00～12:00

定休日: 毎週日曜日・月曜日
[年末年始除く]

